

※この枠内にアイデアをまとめてください。枠内に記載されたことが公開の範囲です。

アイデア作品説明用紙 (整理番号 3004)

アイデアの名称 屑揚げ燃料の製造方法



木質瓦礫



段ボール、蓬



笹、薄



廃材、紙屑



古新聞



藁、豆殻



浸漬け混合原料



余剰油搾り出し原料



円柱状型枠固形燃料



固形燃料



固形燃料包装



バラ燃料



燃焼試験用薪ストーブ



エコの炎

燃料バラ1kg、固形2.2kg合計
3.2kg燃料の燃焼温度は800度
になります。

試験用ストーブの燃焼室が広い耐熱
の燃焼機器で燃料をふやし、燃やし続
けると燃焼温度を上げ事が出来るよう
になります。



固形燃料

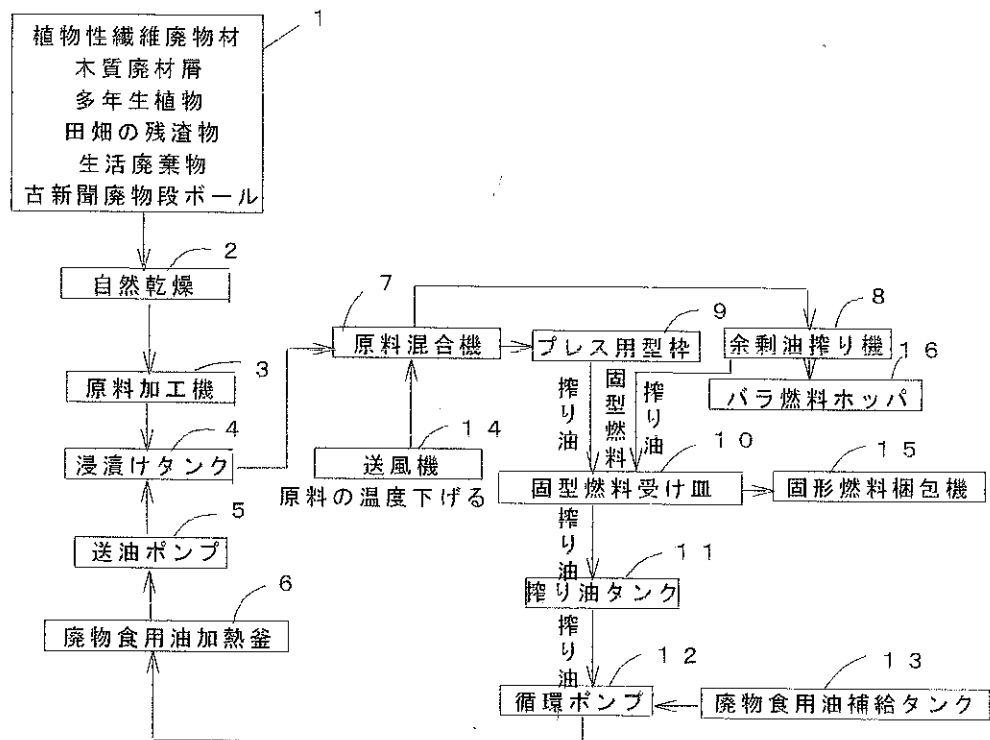
②アイデアの「目的」、「しくみ」、「効果」の説明(300字以内)

木質瓦礫と自然界から豊富に得られる残渣物、田畑の残渣物、原野林地で得られる多年生植物、生活廃棄物紙屑等を自然乾燥し原料に加工して燃やし、発生した熱エネルギーを活用することが目的です。用途に適した寸法と重さに裁断破砕した原料を混合して高温にした廃物、食用油に浸漬けにして余剰油を搾り出し産業や生活、レジャー等に扱い易い形に固形とバラの製品を造り燃料に可る。

瓦礫の木質廃材は貴重な熱資源になり大きい効果が得られ、二酸化炭素排出規制に力を入れない効率の高い燃焼温度が低く安全なエコの炎が発生する燃料にして、厄介物を資源に変えることができます。

【住所】 北海道苫前郡苫前町字苫前 153番地
【氏名】 奥瀬 静夫
【TEL】 0964-64-2659

(注) 個人情報は、公開できる範囲で書いてください。



フローチャート図の説明

植物性繊維廃物材、(木質廃材屑、多年生植物、田畑の残渣物、生活廃棄物、古新聞、廃物段ボール) 1を自然乾燥2で水分を抜き原料加工機3で用途に応じた寸法に裁断破碎して浸漬けタンク4に送る、廃物食用油加熱釜6で160～180度の高温にした油を送油ポンプ5で浸漬けタンク4に送り込み、木質廃材屑等の原料を浸漬けにして原料混合機7に送る。

多年生植物、田畑の残渣物、生活廃棄物、古新聞、段ボール等を浸漬けタンク4に送る、廃物食用油の温度を130～150度でいどにして浸漬けタンクに送り浸漬けにする。

油の温度が高いと浸漬けタンクから出した後で自然発火する可能せいがあるため温度を低めにする、原料混合機7に送風機14で風を送り原料の温度を下げプレス用型枠9で余剰油を搾り固形の燃料を固形燃料受け皿10に乗せ固形燃料包装機15で包装した製品を燃やしエコの炎を得る。

搾り油は搾り油タンク11に貯めて不純物をろ過して、廃物食用油補給タンク13から使った油量分と一緒に循環ポンプ12で、廃物食用油加熱釜6に循環する。

余剰油搾り機8で油を搾り、パラ燃料ホッパ16に送りパラの燃料を収集して燃やし高温で安全な効率の良いエコの炎を発生させることができる。